

令和 5 年 3 月 3 日

福岡県教育委員会教育長 殿

所属校名 粕屋町立粕屋東中学校

職・氏名 教諭 城戸 徳 男

指導者名 原 田 幸 治

堀 居 太 郎

研修最終報告書

このたび、長期派遣研修員として、下記のとおり研修をしましたので報告いたします。

記

- 1 研修種別 C 福岡教育大学附属福岡中学校研修員
- 2 研修場所及び所在地 福岡教育大学附属福岡中学校
〒810-0061 福岡市中央区西公園12番1号
電話番号 (092) 771-8381
FAX番号 (092) 732-1147

3 研究主題及び副主題

相手意識をもち、情報を整理して考えを表現できる生徒を育てる外国語科学習指導法の研究
～P0シートによる目的や場面を意識した process writing を通して～

4 研究内容の概要

(1) 研究の目標

相手意識をもち、情報を整理して考えを表現できる生徒を育てるために、P0シートによる目的や場面を意識した process writing の学習指導のあり方を究明する。

(2) 研究の仮説

P0シートによる目的や場面を意識した process writing の過程を講じることで、コミュニケーションをとる相手や目的、場面に即した適切な内容や語彙、表現を選択し、相手意識をもちながら情報を整理して考えを表現できる生徒を育成することができるようになるだろう。

(3) 主題設定の理由

人工知能時代の到来が、機械（自動）通訳翻訳の実用化を可能にし、外国語教育のあり方が問われている。多言語翻訳アプリ VoiceTra は、現在 31 言語に対応しており、機械（自動）通訳翻訳機能の成長は著しい。浅野(2018)は 2003 年に文部科学省が策定した「英語が使える日本人育成のための行動計画」にある「国民全体に求められる英語力」の技能は、今後さらに精度が高く、いつでも入手できる機械（自動）翻訳通訳の出現により、代替え可能になると指摘している。しかし、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）外国語編の中に外国語科の見方・考え方とは「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」とあるように、目的、場面、状況を意識したコミュニケーションや、自己理解、他者理解をすることが大切であると考え。また、平成31年度に実施された全国学力・学習状況調査の英語「書くこと」において、全体の正答率は46.4%であるが、知識、技能は 30%～80%であったのに対し、思考力、判断力、表現力は 1.9%と極めて低い値であった。これは、目的や場面を意識した writing ができていないため、生徒が単純な語彙や文法の習得で学びがとどまっていることに原因があると考え。故に、目的や場面のある課題を取りあげ、それらを意識しながら段階的に writing 指導を行う必要があると考える。

(4) 主題・副主題の意味

① 主題について

「相手意識をもち」とはコミュニケーションをとる相手の考えや文化について把握し、伝える内容を吟味することである。「情報を整理して考えを表現できる」とは、自分が知り得た情報を伝えたい内容と照らし合わせ、必要な情報とそうでないものを取捨選択し、コミュニケーションの目的、場面、状況に応じて、適当な語彙や言い回しを使い、相手に発信することである。

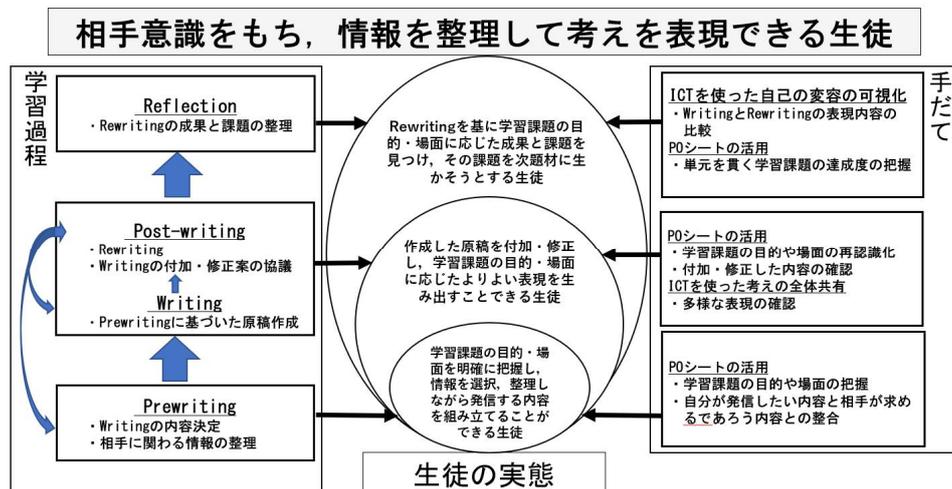
② 副主題について

「P0シートによる」とは学習課題についての Purpose(目的)Occasion(場面)を明らかにし、各段階において課題達成の視点を示すシートを活用することである。「目的」とは、何のために聞いたり読んだり話したり書いたりするのかを把握することである。「場面」とは、誰に対して聞いたり読んだり話したり書いたりするのか、また、本研究では「状態」を意味する相手との関係性やコミュニケーションを行う際の環境は、「場面」に含める。

「process writing」とは、題材ごとに、I「Prewriting」II「Writing」III「Post-Writing」IV「Reflection」の流れの中で課題解決に向けて取り組む過程のことである。望月(2018)はWritingの過程について「ライティングでは書き手は、起案、構造化、草稿、焦点化、評価、見直しのそれぞれの段階を、刻一刻、次に進んだり元に戻ったりして、大変複雑な作業を統括する役を果たさなければならない」と述べている。それぞれの段階を進んだり戻ったりすることは読み手に伝わる文章になるように試行錯誤することであると捉える。「Prewriting」とは、学習課題の目的・場面を把握し、情報を整理する段階である。「Writing」とは、課題解決に向けて新出の言語材料や習得した知識・技能を活用しながら自分の力で書く段階である。「Post-writing」とは、小集団の中で共感的思考や批判的思考をもちながら各々の表現を共有し、自分の表現を目的・場面を意識しながら課題を達成するために、自分のWritingを練り直す段階である。その際、Prewritingで使ったP0シートを見直し、付加・修正を加えながら、目的や場面を再認識したり、学習課題達成のために有用な表現を把握したりしながら、Rewritingを行う。

「Reflection」とは、題材を通して自分の表現の変容をふり返ることで、どのように自分の表現が変化し、学習課題達成に近づいたのかを実感する段階である。また、成果だけでなく、課題についてもふり返り、次題材の意欲をもつ段階でもある。

(5) 研究構想図



(6) 検証の方法

P0シートによる目的や場面を意識したprocess writingの在り方を究明する。これを実証するために、自分と相手の視点に立って内容をまとめたり、目的や場面について記述したりしたP0シートの内容分析や、生徒の様相観察及び分析を行う。

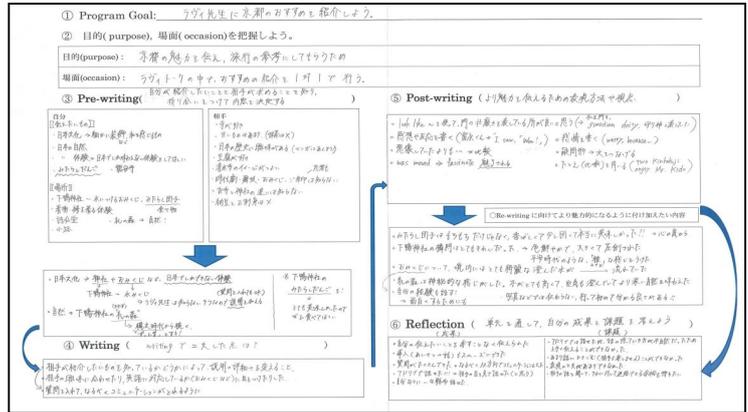
視点1 「Prewriting」の段階において、学習課題に対して、P0シート上に自分が伝えたい内容と相手が求めるであろう内容とをチャート形式で比較させ、相互の内容を検討、整理することは相手意識をもった内容にするために有効であったか。

視点 2 「Writing, Post-writing」の段階において、P0シートにまとめた内容を根拠に、自分のPR文を班で共有し、説明する活動を通して、自分のPR文を内容、表現の視点から再考し、練り直すことは、学習課題の目的や場面により応じた文にするために有効であったか。また、P0シートの内容は相手意識や課題の目的や場面を再認識するための手立てとして有効であったか。

視点 3 「Reflection」の段階において、学習課題を達成するために、最初に書いたPR文と最後に書いたPR文を比較させることやP0シートを見直すことは、自分のPR文の変容を見取る手だてとして有効であったか。

また、【資料1】は学習課題の達成に向けて活用したP0シートの全体図である。このシートには、学習課題の目的、場面、Prewriting, Writing, Post-writing, Reflectionまでの一連の流れを1枚のシートにまとめることができるように構成されている。

【資料1】P0シートの全体図



5 授業実践

(1) 実践①

① 題材名「福岡の魅力を世界に伝えるPR文を作成しよう」

② ねらい

本題材の指導にあたっては、福岡県庁観光局の福岡の魅力を伝えるPR文を作成してほしいという依頼に対し、他県にはない福岡の良さを考え、自分が発信したい内容と海外の人が求めるであろう内容について吟味し、相手に合わせて福岡を魅力的に伝える表現の工夫について見出させることをねらいとした。

③ 授業の実際

ア 「Prewriting」の段階

この段階では、P0シートを学習過程の中で常に活用する中で、どの過程においても目的と場面を確認させるために、P0シートに目的と場面を書かせた。

イ 「Writing」の段階

この段階では、P0シートをもとに、福岡の魅力をPRする文を書かせた。全ての生徒がP0シートを何度も見返しながらPR文を書いていた。PR文を書きながら、P0シートに新たな情報を書き足したり、構想を変更したりしている生徒も見受けられた。

ウ 「Post-writing」の段階

この段階では、食べ物や場所の魅力を表す具体的な記述内容を把握させるために、食べ物や場所の記述について付加、修正した内容が目的や場面に応じた内容になっているか確認させるために、P0シートを見返して、グループで話し合うよう指示した。

エ 「Reflection」の段階

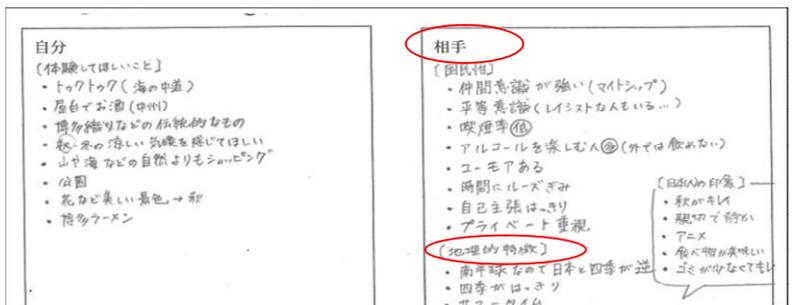
この段階では、自己のPR文の変容について、最初に作成した原稿と完成した原稿を比較させたり、今までのP0シートの内容を見直させたりしながら記述させた。

④ 結果と考察

【資料2】自分と相手のことを示したチャート

視点 1

【資料2】のように生徒は対象としている国の文化やその国が抱えている日本へのイメージについてP0シートにまとめることができていたが、抽象的な内容になっており、提案内容に結びつけづらいものになっていた。



視点2

【資料3】はP0シートのPost-writingの記述である。生徒の多くがPR文をよりよくするために書いた内容はPR文を書くための表現方法などの知識であった。本研究においてP0シートは、学習課題を達成するための視点を記していくためのシートとして活用させることを目的としている。福岡の魅力をより相手に伝えるようにするにはどのような内容や表現を用いることが有効であるのか、また目的や場面に応じてどのような内容を書き表す必要があるかを書き出していくことがP0シートを活用する目的であるが、その目的とは離れた内容になっている生徒が多かった。

【資料3】 Post-writingでのP0シートの内容

want to 「～たい」 → 自分が～をオススメしたい。自分から～をオススメる。
want to to 「～に～してほしい」 → この場所では～してほしい。～をオススメに～してほしい。
不定詞 → hope to 「～することを望む」 need to 「～が必要がある」
動名詞 → enjoy v-ing 「～することを楽しむ」 finish v-ing 「～し終える」
hope to → ～を～に～してほしい。 need to → ～が必要がある
enjoy ing → ～することを～と楽しむ

— は文法事項を示している

視点3

【資料4】を見ると、学習課題を達成するにあたり、目的や場面を意識しながら相手意識をもってPR文を作成しようとしていることがわかる。コミュニケーションにおける相手意識の必要性を感じることができている。そのためには、生徒にとって現実味のある学習課題の設定は必須であることがわかった。

【資料4】 生徒のReflectionの記述内容

最初は、トド 紹介する事実を淡々と述べるだけだったけれど、いろいろな表現方法を知って、具体的な味や見た目、食感さらに、日本人が食べているのか、どこで食べられるのかというところ、伝えたい文章にするところまで。また、場所を伝える時には、相手のことを考えて興味を持つ、伝えるのか、日本人でうーん、良いのかというところも意識(書くこと)でできた。あとは、アメリカ人に対してPRだから、アメリカ人の意向に合わせて調べた。それと、書いた文章を～と～でできた。良い、たてず。トドトド事実を淡々と述べる新しい文章にするのは、相手から離れるような魅力のあるPRを書くことができた人(自分)は、思っている。今回初めて知りた文法は、自分も、PRに活かして使いたい。

— から相手を意識していることがわかる

⑤ 実践①における成果と課題

- 「Reflection」の段階において、P0シートの中で、目的や場面について捉えさせる内容を記述させることで、PR文を見直す視点として、より相手を意識したかどうかについて振り返ることができていた。
- 「Prewriting」の段階において、今回は最終的に海外のインスタグラムに載せることがゴールであったため、特定の対象という点で曖昧な設定であった。相手意識をもたせるためには、相手を明確にし、その人について調べたり、考えたりする作業が必要であった。
- 「Post-writing」の段階において、生徒のPost-writingにおける記述内容は文法事項を中心とした知識、理解に関するものであった。P0シートに相手意識や目的、場面を意識する視点を記述させ、思考力、表現力を高めさせるためのものとするために、視点について考えを深めることのできるP0シートの活用の仕方の工夫が必要であった。

(2) 実践②

実践②では、実践①で課題があったPrewritingとPost-writingに焦点をあて、分析を行った。

- ① 題材名「ラヴィ先生に京都のおすすめを紹介しよう」
- ② ねらい

本題材の指導にあたってはALTの依頼に対し、ALTが求める内容を把握しながら、相手に合わせて京都を魅力的に伝える表現方法の工夫について見出させることをねらいとした。

③ 授業の実際

ア 「Prewriting」の段階

この段階では、まず、Writingの目的と場面を全体で共有した。京都のおすすめを紹介する目的や場面を意識させるために、P0シートを提示し、目的や場面を書くように指示した。次に、自分が発信したい内容と相手が求めるだろう内容を整理させた。そのために、ALTへの質問を作成させ、質問によって得たALTの情報をP0シートにまとめさせた。最後に、チャート形式で自分が発信したい内容と相手が求めるだろう内容をもとに、実際に紹介する内容を整理させた。

イ 「Post-writing」の段階

この段階では、清水寺の紹介を書かせ、グループでの話し合い活動を通して、より魅力が伝わる視点についてまとめさせた。また、経験したことを書くことが魅力を伝える際に説得力を増すものになることに注目させ、P0シートに新たな視点として書かせた。また、獲得した新たな視点を自分の内容にどのように活かすことができるか問い、具体的な表現をP0シートに書かせた。

④ 結果と考察

視点1

【資料5】のように、今回は対象がALTという特定された人物であったため、相手の情報を具体的に書き表すことができている。質問を作成する段階では “Are you interested Japanese history?” などの質問を考え、相手意識をもって取り組んでいた。また、ALTが抹茶が苦手であるという情報を聞き、おすすめする欄に抹茶を書いていたが、抹茶を勧めることをやめた生徒がいる一方、抹茶が苦手な人でも食べることができるデザートを探る生徒もいた。自分がおすすめするものと相手が求めるだろう内容に

【資料5】自分と相手のことを示したチャート

③ Pre-writing (自分や相手の紹介をしたことと相手の求めることとを共有し、話し合いをもつた内容に決まってくる)

自分	相手
[自己紹介] <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化 → 相手の最終テーマに合わせる ・日本の自然 <ul style="list-style-type: none"> ・体験 → 日本での体験を話して欲しい ・おもしろいこと → 観光地 	[相手] <ul style="list-style-type: none"> ・抹茶が苦手 ・日本の歴史に興味がある (→ 日本史の授業) ・京都の歴史に興味がある ・清水寺の歴史に興味がある ・時代劇に興味がある (→ 京都の歴史) ・日本の神社に興味がある ・和食に興味がある

実践1に比べ、具体的な記述内容になっている。

頭を悩ませながらも、自分なりに折り合いをつける姿が見られた。しかし、【資料5】の相手が求めるだろう内容を見ると、ALTの趣味、嗜好に関する質問が多いことがわかる。シンガポール身のALTに対して、シンガポールの歴史的建造物と古都京都の寺社仏閣を比較するための質問などを考えさせることができれば、より相手を知ることができたのではないかと考える。

視点2

【資料6】のように、今回のP0シートのPost-writingの欄では、表現力を高める視点を書くことができている。その理由として、生徒は文法事項などの知識と区別して学習したことや発問を工夫し、話し合い活動でも表現の良さについて話し合わせたことが大きな要因だと考える。題材のゴールを達成する中で必要な知識を身に付けながら、表現を高める手だてとしてP0シートを活用することができた。

【資料6】Post-writingでのP0シートの内容

⑤ Post-writing (より魅力が伝わるための表現方法や視点)

- ・ look like ~ と使って、門の守護を表現している所が良いと思う (→ guardian deity, 守り神を表現)
- ・ 感想や反応を書く (驚く → "I saw, 'Wow!')。感情を書く (worry, because...)
- ・ 想像していたよりも → 比較
- ・ 疑問形 → 文を上げる
- ・ was moved → fascinate 魅了される
- ・ 下と上 (比較) を用いる (Two Kinkakuji)

文法事項ではなく、表現を深めるための視点を書くことができている。

また、【資料7】を見ると、生徒がP0シートに書いた内容は京都のおすすめを紹介する際に効果的な内容かつ汎用性のある中身になっていることがわかる。生徒は【資料6】で獲得した視点をもとに、グループでの話し合い活動や全体での交流を通して、新たに手に入れた視点を自分の京都をおすすめする内容に応じて具体的に書き表すことができている。

【資料7】獲得した視点を基に自分のおすすめの内容に活用した内容

- Re-writing に向けてより魅力的になるように付け加えた内容
- ・ 下鴨神社の門はとってもきれいだ。下 → 色鮮やかで、大きくて圧迫感がある
 - ・ お茶の店について、境内にはとても綺麗な澄んだ水が → 流れている
 - ・ 京都の空は神秘的な感じでした。木々も高く、空も澄んでいてより深い自然の味も感じた
 - ・ 自分の経験も話す → 写真などで伝えない、行って初めて分かる良さもある

【資料8】はP0シートをもとに生徒が作成したwritingとrewritingである。Writingの段階では、ガイドブックやインターネットで調べる手に入れることができる内容だけであったが、rewritingでは、赤線で示すように自分の経験を踏まえて、行ったからこそ伝えることができる内容になっている。また、下鴨神社の門に感動したようすを、surpriseよりもより感動が伝わる表現を使いたいという本人の思いが伝わってくる。これは、生徒が相手意識をもち、京都の良さを伝えたいと思っている証拠である。

【資料8】 Writing と Rewriting の比較, 変容

<p>京都おすすめ紹介文 I <u>reccomend</u> "Shimogamo Shrine". Shimogamo Shrine is the one of biggest shrine in Kyoto city. I want to tell what you can do there. First, you can enjoy nature. Around the Shimogamo shrine, you can walk in the forest. Forest of the name is "Tatazu no mori". One of the story said, this forest's history started the Jomon period. I'm sure you can enjoy. Second, you can eat "Mitarashi dango". Mitarashi dango is Japanese popular sweet. Stabed dangos covered with sweet and little salty sauce.</p>	<p>京都おすすめ紹介文 I reccomend "Shimogamo Shrine". Shimogamo Shrine is one of the biggest shrines in Kyoto city. It's famous for a tower gate. <u>First I saw it, I was overpowered by the tower gate.</u> It looks like big plum tree in bloom, and I experienced Japanese traditional and old heart. "Japanese style". But that's not all. First, there are fresh nature. Around the Shimogamo shrine, you can walk in the mysterious forest. Forest of the name is "Tadasu no mori". One of the story said, this forest's history started more than ten thousand years ago. There are many bent trees, but I moved by sky's height. Trees height are so high. Branches made some shadows, so air is little cold, but fresh. In Shimogamo shrine, you can see clear pond. There, you can do "Mizu Mikuji". Mikuji is telling fortune in small paper. It's Japan old fortune-telling. <u>I did that, then it said "Stop and Not playing. More study".</u> I'm sure you can enjoy. Second, you can eat "Mitarashi dango". Mitarashi dango is Japanese popular sweet. Stabed dangos are covered with sweet and little salty sauce.</p>
--	---

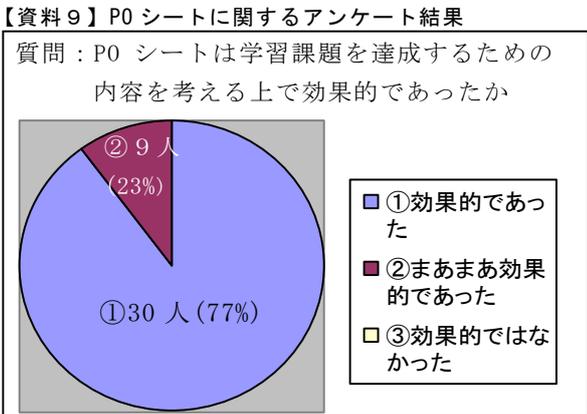
赤字は文法の誤りを教師が訂正している

⑤ 実践②における研究の成果と課題 (○は成果, ●は課題)

- 「Prewriting」の段階において、ALT という具体的な相手を設定し、相手意識をもって必要な情報を相手に質問することを通して獲得することができた。また、その内容を自分がおすすめる内容と照らし合わせながら実際に京都をおすすめる内容を整理し、決定する生徒の姿が見られた。
- 「Post-writing」の段階において、文法などの知識の習得と思考力、表現力を高める学習を区別するとともに、P0 シートには、学習課題の目的、場面に応じるための視点を記述させることでP0 シートを思考力、表現力を深めるシートとして活用できた。
- 「Prewriting」の段階において、相手の情報が、趣味や嗜好の範疇での情報収集で終わってしまっていた。自他の文化について把握させ、文化の違いを捉えさせながら、学習課題の達成につなげさせるための手立てが足りなかった。

6 研究の成果と課題 (○は成果, ●は課題)

- P0 シートに学習課題ごとに学習課題の目的、場面を振り返らなければならない記述をさせることで、常に学習課題の目的を意識しながら writing の内容を考えることができ、相手を意識した Writing 活動になっていた。
- 学習過程ごとの生徒の思考の流れに沿って学習課題達成のための視点などを記述させることで、段階的に Writing 活動を行い、自分の Writing の内容を作成し、再考し、訂正するというサイクルの中で、相手にとってより魅力的な Writing 内容にすることができた。
- 【資料8】のような Writing の変容が見られた生徒は、全体の8割に及んでおり、P0 シートを活用することで、相手を意識した Writing を書くことができる。また、【資料9】のアンケート結果からP0 シートの効果を実感している生徒が多く、P0 シート有効な手立てとなっていることがわかる。
- 単元を通しての思考の流れをP0 シート1枚にまとめさせたことにより、「Reflection」の段階において学習課題達成のために作成した文を見直す視点として学習課題の目的、場面に応じたかや相手意識をもてたかについて振り返ることができていた。
- Writing において、知識、理解の観点も大変重要である。しかし、P0 シートは思考、判断、表現に特化しているため、課題解決の過程で十分な知識、技能の能力を育成することができなかった。
- Prewriting において、相手の文化の抽象的な内容を理解させることはできたが、学習課題に合わせた具体的な文化の違いを捉えさせることはできなかった。



7 研修を修了しての感想

AI 時代が到来している今だからこそ、直接的な人と人とのつながりは大切である。故にコミュニケーション能力を育成する外国語科が担う役割の重要性を受け止め、多くの生徒が世界規模でさまざまな人たちと交流することを通して、豊かな心を育み、コミュニケーションを図ることの楽しさを実感できる授業を実践できるよう、今後も研鑽を積みたい。

- 在籍校 柏屋町立柏屋東中学校
電話番号 (092) 939-0740

1 題材 「ピアスさんが弟のために開くパーティーを企画し、提案しよう。」

2 指導観

- 法務省の出入国在留管理庁によると、平成23年の在留外国人の数は約200万人であったのに対し、令和3年の外国人の数は約280万人となり、増加し続けている。日本人にとって、日本国内において外国人と円滑にコミュニケーションをとるスキルは必要不可欠なものになってきている。

本題材では、アメリカ人の依頼に対して、生徒が依頼主の弟が日本人の友達との親交を深めるためのパーティーを企画する活動を通して、双方の文化に関する情報を踏まえながら、魅力的なパーティー企画を伝えることができることをねらいとしている。主な学習内容は、相手の文化に関する情報の有用性、目的や場面を踏まえた文の必要性、現在完了形の用法、使用場面などである。本題材は、依頼主にとって魅力的なパーティーの内容を考えることで、パーティーの内容について自分が企画したいものと相手が期待しているものを踏まえて、内容を吟味することができるだけでなく、パーティーというそれぞれの文化や生活習慣が色濃くでる内容を考えさせることで、互いの文化の違いについて把握し、どのようにその情報を伝えればよいのか工夫する機会を設けることができる。以上より、本題材を学習することは、文化の違いを把握しながら、相手に合わせてコミュニケーションをとることができる力を育む上で、意義深いことであると考えている。

○

個人情報保護のため、
生徒観は省略しています。

- 本題材の指導にあたっては、アメリカ人の依頼に対し、パーティーを企画する目的や場面を踏まえて、文化の違い複数の参加者が楽しむためのパーティー企画の工夫について見出させたい。そのためにまず、アメリカ人の依頼を聞き、パーティーの内容を検討させる。ここではパーティーを企画する目的や場面を意識させるために、P0シートを提示し、目的や場面を書くように指示する。また、自分が提案したい内容と相手が期待する内容を整理させるために、チャート形式でお互いの情報を提示させ、パーティーの内容をどのように決めたのかを問う。次に、パーティーの企画書を作成させる。ここでは、目的や場面を踏まえた文を書かせるために、Prewritingで考えたP0シートの内容をどのように活用するか問う。さらに、パーティーの内容を共有し、再考し、練り直し、提案させる。ここではRewritingするポイントを視覚的に理解させるために、加筆したP0シートのポイントと企画書を比較させ、加筆したポイントを企画書にどのように活かすのかを問う。最後に、企画書がどのように変容したかを捉えさせ、その内容を共有させる。ここでは、企画書がどのように変容したのかについて気づかせ、今後のWritingの活動につなげさせるために最初に書いた文と最後に書いた文を比較させ、変化した部分と変化したことによる効果を問う。

3 目標

- 現在完了を用いた文の構造や働きを把握し、相手の経験や継続して行っていることについて整理しながら質問文を書くことができる。
- 依頼主の弟が日本人の友だちと親交を深めることができるパーティーにするために、獲得した情報をもとに、日本とアメリカの文化の違いを踏まえてパーティー企画を提案することができる。
- 依頼主の弟が日本人の友だちと親交を深めることができるパーティーにするために、アメリカ文化と日本文化を比較しながら企画内容を工夫し、パーティー企画を提案しようとしている。

4 計画 (9時間)

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

過程	時	学習活動・内容	手だて (○), 研究に関わる手だて (◎)	評価規準
P r e w r i t i n g	4	<p>学習課題 ピアスさんが弟のために開くパーティーを企画し、提案しよう。</p> <p>1 ピアスさんからの依頼を聞き、パーティーの内容を検討する。</p> <p>(1) ピアスさんからの依頼を聴き、パーティーの内容を紹介する目的をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティーを企画する目的や場面の把握 <p>(2) ピアスさんへの質問内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Have you ever ~? 	<p>◎ パーティーを企画する目的や場面を意識させるために、P0シートを提示し、パーティーを企画する目的や場面を書かせる。</p> <p>○ 経験を質問する必要性に気づかせるために、今回の学習課題ではどのような情報が必要か問う。</p>	<p>態：ピアスさんからの依頼を受け、目的や場面を考慮したパーティーの内容を考えようとしている。</p> <p>知：現在完了形の構造や働きについて把握し、相手の経験や継続していることを書くことができる。</p>
	本時	<p>(3) ピアスさんに質問し、情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の文化に関する情報の有用性 	<p>◎ 相手の文化を知る必要性に気づかせるために、異文化理解の欠如によって起こる事案の動画を提示し、なぜこの事案が起きたかを問う。</p>	<p>思：相手にとって魅力的な企画にするために、相手の文化について質問することの効果について記述することができたか。</p>
		<p>(4) 知り得た情報をもとに、おすすめの内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が提案したい内容と相手が期待する内容の整理する有用性 	<p>◎ 自分が提案したい内容と相手が期待する内容を整理させるために、P0シート内に自分と相手についてチャート形式で提示し、パーティーの内容を記述するように指示する。</p>	
W r i t i n g	1	<p>2 企画書を作成する。</p> <p>(1) P0シートを使って目的や場面を捉えたパーティーの内容を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面を踏まえた文の必要性 	<p>◎ 目的や場面を踏まえた文を書かせるために、Prewritingで考えたP0シートのチャートを活用するように促す。</p>	<p>思：依頼主の弟が日本人の友だちと親交を深めることができるパーティーにするために、目的に応じてパーティーの内容を書くことができる。</p>
P o s t w r i t i n g	3	<p>3 パーティーの内容を共有し、再考し、練り直し、提案する。</p> <p>(1) 作成した文を共有し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に合わせた紹介の内容や紹介の仕方 <p>(2) 共有した内容や改善点について見直し、企画する文を書き直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P0シートを活用した文の改善方法 <p>(3) ピアスさんにパーティーの内容を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化を踏まえたパーティーの内容を提案することの価値 	<p>◎ 相手に合わせた紹介の内容や紹介の仕方を考えさせるために、それぞれの文で相手を意識した内容がどこかを問う。</p> <p>◎ Rewritingするポイントを視覚的に理解させるために、加筆したP0シートのポイントと原稿を比較させ、加筆したポイントを原稿にどのように活かすか問う。</p> <p>○ 相手に魅力的なパーティーの提案をすることができたかを確認させるために、ピアスさんの感想を聞く。</p>	<p>思：日本人の友だちと親交が深まるパーティーにするために、獲得した情報をもとに、日本とアメリカの文化の違いを踏まえてパーティー企画を提案することができる。</p> <p>態：日本人の友だちとの親交が深まるパーティーにするために、アメリカ文化と日本文化を比較しながら企画内容を工夫し、パーティー企画を提案しようとしている。</p>
R e f l e c t i o n	1	<p>4 企画書がどのように変容したかを捉え、その内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Rewriting後の企画文の変容、また成果と課題の把握 	<p>◎ 企画書がどのように変容したのかに気づかせ、今後のwriting活動につなげるために、P0シートで書き足した内容はどのような点かを問う。</p>	<p>態：学習課題の目的や場面を視点として、自分の企画文がどのように変容したかを捉え、本単元の成果と課題を見いだそうとしている。</p>

5 本 時 令和5年 2月 1日 (水) 第4校時 計画 第一次の3 2年2組教室にて

(1) 主 眼

- グループで意見交流した質問を依頼主に尋ね、情報を得る活動を通して、参加者全員が楽しめるパーティーを企画するために、相手の文化について質問することの有用性を把握することができる。

(2) 準 備

- ①P0シート②異文化理解の欠如によっておこる事案を示した動画③ロイロノート
- ④外国人がもつ日本のパーティーのイメージに関するインタビュー動画

(3) 過 程

学習活動・内容	準備	手だて (○), 研究にかかわる手だて (◎), 評価 (◇)	形態	配時
<p>1 前時に考えた質問を共有し、動画を視聴した後に、本時のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した質問内容の偏り ・相手の文化について知る必要性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Today's Goal Let's make more questions and ask Mr.Pierce.</p> </div>	① ②	<p>◎ 学習課題の目的を見直すために、P0シートで確認するよう指示する。</p> <p>○ 生徒が考えた質問がクリスに関する質問に偏っていることを把握させるために、前時で生徒が考えた質問を共有する。</p> <p>○ パーティー内容を提案する際に、相手の文化を知る必要性に気づかせるために、異文化理解の欠如によっておこる事案を示した動画を提示し、なぜこの事案が起きたかを問う。</p>	一斉	5
<p>2 相手に尋ねる質問を考える。</p> <p>(1) 個人で相手の文化を尋ねる質問を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティーと文化を関連付けた質問内容 ・Do you eat chicken at the party in the US? ・What is popular food in the US? <p>(2) 個人で考えた質問の内容をグループで意見交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティーと文化を関連付けた多様な質問方法や表現 ・What do you usually do at the party in the US? ・What do you usually eat at the party in the US? ・Is there any rules when you have a party in the US? 	③ ④	<p>○ パーティーと文化を関連付けた質問を作成させるために、アメリカのパーティーのイメージを問う。</p> <p>○ イメージと現実のギャップに気づかせ、実際に質問する必要性に気づかせるために、外国人がもつ日本のパーティーのイメージに関するインタビュー動画を提示する。</p> <p>◎ 自分が提案したい内容に関連した質問を作成させるために、P0シートを参考にするよう指示する。</p> <p>○ 既存の知識を活用して英文を作成させるために、翻訳機能は自分の文を確認するために使用するよう指示する。</p> <p>○ 相手の文化を視点に質問を考えることで幅広い質問を考えることができることを共有させるために、グループで質問を提示する。</p> <p>○ それぞれの生徒が考えた質問の意図を捉えさせるために、なぜその質問を作成したのかを問う。</p>	個 小集団 ↓ 一斉	15
<p>3 考えた質問を依頼主に尋ね、知り得た情報を P0 シートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画するために必要な相手に関する新たな情報 		<p>◎ 質問を通して手に入れた情報を整理させるために、P0シートの相手の欄に質問の回答を書き留めるように指示する。</p>	一斉	20
<p>4 本時で尋ねた質問や新たに得た情報を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の文化について質問することの有用性 		<p>◎ 相手の文化について質問することの有用性を把握させるために、本時で作成した質問で得た情報によって企画内容がどのように変わるのかを問う。</p> <p>◇ 相手にとって魅力的な企画にするために、相手の文化について質問することの効果について記述することができたか。 (ロイロノート分析)</p>	個	10

